

社長メッセージ	2
<b>01</b> NTTグループが地球温暖化防止のために取り組んでいること	3-4
<b>02</b> NTTグループの環境負荷 (INPUT/OUTPUT)	5-6
<b>03</b> 環境保護の考え方・方針 NTTグループ・エコロジー・プログラム21 NTTグループ地球環境憲章 2003年度の主な活動	7-8
<b>04</b> 体制・マネジメント NTTグループ地球環境保護推進体制 事業特性に合わせた3つのグリーンガイドライン 環境マネジメントシステム (ISO14001) リスク管理 社員教育/社員の意識調査 環境会計	9-12
<b>05</b> 地球温暖化防止	13-14
<b>06</b> 廃棄物削減	15-16
<b>07</b> 紙資源節減	17
<b>08</b> 環境リスク対策	18
<b>09</b> 環境技術の研究開発	19-20
<b>10</b> 社会貢献・コミュニケーション	21-22
<b>11</b> データ	23-26

■Web検索システムについて

NTTグループの環境ページに簡単にアクセスできる検索システムを用意しました。Webサイトのトップページ (<http://www.ntt.co.jp/kankyo/2004report/>) の上部にある検索窓に、本文見出しの右にあるナンバーを入力するだけで、見たいページにジャンプします。Webには冊子に掲載していない情報も紹介しています。

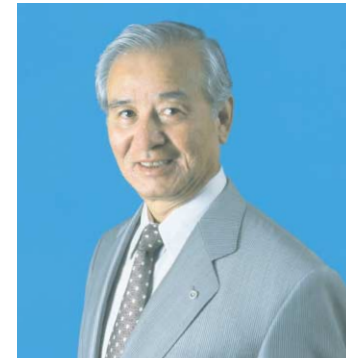
編集方針

- 本報告書は、NTTグループの環境保護に関する考え方・方針・活動などについて、多くの方々にご理解いただけるよう、体系的でわかりやすい編集を心がけました。
- 本報告書は、環境省ガイドラインとGRI (Global Reporting Initiative) ガイドラインを参考に作成した「NTTグループ会社環境報告書作成ガイドライン」にもとづいています。
- 紙資源節約のため、2002年度版より、報告書には必要最小限の情報を記載しています。詳細な情報が必要な方は、Webサイトをご覧ください (巻末にWebサイトの案内を記載しています)。
- 第三者検証は実施していませんが、本報告書を社会との重要なコミュニケーションツールと位置付け、真摯な姿勢で情報公開を行っています。

報告期間/報告範囲ほか

- 本報告書はNTTグループの2003年度 (2003年4月1日～2004年3月31日) の実績をもとに作成したものです。一部、2004年4月1日以降の活動と将来の見通しを含んでいます。
- NTTグループと記載している2003年度の数値は、主にNTT (持株会社)、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモおよびそれらのグループ会社の集計データです。なお、1998年以前の数値は、主に再編以前のNTTの集計データです。詳細は、p23～26のデータ編をご覧ください。
- 組織名称は、2004年3月末現在のものです。
- 本報告書は2004年9月に発行しました。2005年度版は、2005年9月に発行予定です。

# レゾナントコミュニケーション環境の創造によって豊かで快適な未来を実現し、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりに貢献します。



日本電信電話株式会社 代表取締役社長 和田紀夫

私たち企業は、事業活動を通じて豊かな社会づくりに貢献してきましたが、一方で、地球環境に大きな負荷をかけてきました。これからの企業には、お客さまの暮らしやビジネスをより快適にすると同時に、環境負荷の低減に寄与する製品やサービスを提供し、持続可能な社会づくりに貢献することが求められます。

NTTグループは、あらゆるものがインタラクティブに、いつでも、どこでも、誰とでもネットワークで結ばれ“共鳴”しながら進歩するレゾナントコミュニケーションの世界＝「“光”新世代ビジョン」の実現を目指しています。人と人が響き合えるITサービスを提供することで、実際に会うのと同じようにコミュニケーションができるようになり、移動などによるエネルギー消費を削減することができます。また、ITによる商取引や公共サービスも、人の移動やモノの輸送など、社会全体で消費されているエネルギーを削減することにつながります。私たちは、ブロードバンド&ユビキタスによるITサービスをさらに進化させることによって、より多くのお客さまの豊かで快適な生活に貢献

すると同時に、環境負荷の低減を推進していきます。一方、ITサービスの普及促進に起因するエネルギー消費や資源使用の増大を抑えることも重要です。そのため私たちは、環境エネルギー技術の研究開発をはじめ、ネットワーク機器などのエネルギー消費低減、使用済み機器や電話帳のリサイクルなど、事業活動のあらゆる工程に環境の視点を取り入れ、環境保護に取り組んでいます。

美しい地球環境を次の世代に引き継いでいくには、NTTグループ社員一人ひとりの積極的な活動はもちろん、お客さまや協力会社など、多くの方々と環境問題について語り合い、知恵を出し合っていくことが必要です。この報告書は、NTTグループの環境への取り組みを、多くの皆さまにお知らせし、コミュニケーションを図るために発行しています。NTTグループの環境保護活動や報告書そのものの継続的な改善を図るためにも、皆さまからの率直なご意見やご助言をいただければ幸いです。

2004年9月